



交 企 秘 第 56 号

令和 8 年 7 月 13 日

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構

北陸新幹線建設局

局長 堀川 淳 様

交野市長 山本 景



北陸新幹線地下水調査報告に係る本市申し入れへの回答について（要望）

標記の件について、令和 7 年度に貴局で実施された本市内の地下水調査に関しては、令和 8 年 2 月 19 日に調査報告を受けたところですが、本市では下記の点から調査内容が本市地下水の安全性を裏付けるには不十分であると考え、更なる調査の実施を求めたところ、貴局より検討する旨の返答を頂いたにも関わらず、現時点において未だに回答をいただいていない状況です。

現在、与党整備委員会において北陸新幹線の敦賀駅から新大阪駅間の延伸ルートが改めて検討され、今国会の会期末までに決定を目指していると報道されています。本市は、これまでより詳細ルート決定までの調査実施及び報告を求めてきたところ、本市の主張が蔑ろにされていることに憤りを覚えており、改めて市民が安心できるに足る丁寧な調査の実施と説明を強く求めます。

【本市が更なる検討（調査実施）を申し入れた内容】

- ① ボーリング調査が 1 箇所のみであり、市内の想定ルートを通過するトンネルが、第 1・2 層（浅い層）を通過すると言い切れないこと
- ② 本市の上水道井戸がある位置において、難透水層（粘土層）が存在していない井戸もあり、その場合の地下水への影響が不明であること
- ③ 貴局にて当初推定されていた水の流れが、調査の結果異なることが判明したことから、より精度の高い調査が求められること
- ④ 水道水源井戸について、貴局の言う浅い層から取水している可能性があり、双方の主張に食い違いがあることから、取水位置を精査する必要があること

以 上